

開催中止のお知らせ

第12回 陶芸教室・ガラス講座・ろう染めクラブ作品展

3月20日(金・祝)から29日(日)まで開催する予定でしたが「第12回 陶芸教室・ガラス講座・ろう染めクラブ作品展」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止することになりました。大変申し訳ございませんが、ご理解いただけますようお願いいたします。

各教室では、新年度からの受講生を募集中です。詳しくは金津創作の森のホームページをご覧ください。

令和2年度 金津創作の森美術館 企画展

金津創作の森美術館アートコアで開催する企画展をご紹介します。

小松宏誠展 光と影のモバイル 森の夢

4月18日(土)～6月14日(日)

春

光と影を巧みに用いて多彩に変化する大規模なインスタレーション作品を展開する小松宏誠。次世代型モバイルアートの世界をお楽しみください。



「雨のうた」©Kosei Komatsu Photo:Shin Inaba

造形作家 玉田多紀展 ～ダンボールの森でかくれんぼ～

7月18日(土)～9月27日(日)

夏

ダンボールの強度と柔軟性を活かして生き物を制作している造形作家・玉田多紀。触れて感じる展示やワークショップを通じて、その独創的な作品を紹介します。



2015 catch & release ©Tamada Taki

アートキュメント2020 五十嵐彰雄展 (仮称)

10月24日(土)～12月6日(日)

秋

越前市在住の現代美術家・五十嵐彰雄を招待し、60年以上にわたる氏の活動の軌跡を、油彩やドローイング、版画など平面作品を中心に紹介します。



©五十嵐彰雄 Photo ©山口孝

Fermentation Tourism Nippon X 福井 (仮称)

2021年1月16日(土)～3月7日(日) 予定

冬

発酵デザイナー・小倉ヒラクが47都道府県を巡り、取材して出会った多種多様な発酵食品を紹介。福井県をはじめ、全国各地の発酵食品から人々の暮らしや文化を再発見していきます。(Fermentationとは、発酵という意味)



この他、春の「森のアートフェスタ」や「フレンチ・トースト・ピクニック 2020」、秋の「クラフトマーケット」、創作工房・ガラス工房での各種体験など、自然の中で気軽にアートや、ものづくりの魅力に出会えるイベントを開催します。

令和2年度 金津創作の森友の会 会員募集!

企画展の招待券や最新情報の送付など、お得でうれしい特典がいっぱい!ぜひ、ご入会ください。

Table with membership fees: 一般会員 (個人 2,000円, ファミリー 3,000円), メセナ(法人)会員 (ブロンズ 10,000円, シルバー 20,000円, ゴールド 30,000円)

ご入会のお申し込み方法

郵便振替または財団事務局で年会費を納入ください。追って、特典をお送りします。詳しくは、金津創作の森のホームページをご覧ください。

【申し込み・問い合わせ】(公財)金津創作の森財団 TEL.73-7800

金津創作の森のホームページはこちらのQRコードからご覧いただけます



- 月曜休館(祝日の場合開館、翌平日休館)
●(公財)金津創作の森財団 事務局 TEL.73-7800 http://sosaku.jp/
●アンビション(レストラン&森の結婚式)問合せ アンビション TEL. 73-4141



地域<sup>かんこうち</sup>の恵みを生かす感幸地について学ぶ

◆2月9日(日) グランディア芳泉



「あわら市まち・むらときめきプラン」では、各集落の課題などに対応する支援を計画しており、その一環として各種セミナーを実施しています。

3回目となる今回は、「地域資源活用セミナー」を開催しました。有限会社オズ(海島遊民くらぶ)代表取締役の江崎貴久氏が、「地域の恵みを活かす感幸地を目指して」と題して講演。地域資源の掘り起こしや「あわらならでは」の人を引き付ける観光資源として活用する方法、観光を通して、住む人も来る人も幸せにする「感幸地あわら」にするにはどうしたらいいかなど、将来を見据えたまちづくり、人づくりについて学びました。

参加者からは「当たり前の日常の中、生活の中の“面白さ”を見つける目、見直す目を鍛えなおしたい」「自分たちの地域でどのような地域資源があるのか改めて考えたい」などの声もあり、地域づくりの意識が高まったようでした。

ご寄付ありがとうございます

◆2月27日(木) 市役所



JA花咲ふくいが販売する「大豆入麦茶」の売上金の一部(5万2000円)を、花咲ふくい農業協同組合から寄付していただきました。

この寄付は、平成22年から毎年行われていて、頂いた寄付金は市の食育活動に役立っています。

新型コロナウイルス感染症 対策にご協力を!

新型コロナウイルス感染症が全国で流行していますが、手洗いや咳エチケットを行うことが基本的な対策となります。普段から正しい手洗いや咳エチケットを心掛けてください。

詳しくは、市のホームページをご覧ください。



▲QRコード

正しい手の洗い方

- ①流水で手をぬらした後、せっけんをつけ、手のひらをよくこする。
②手の甲を伸ばすようにこする。
③指先・爪の間を念入りにこする。
④指の間を洗う。
⑤親指と手のひらをねじり洗う。
⑥手首も忘れずに洗う。
⑦洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルなどでよく拭き取る。

咳エチケット

- ・マスクを着用する(口と鼻を覆う)。
・マスクがないときは、ティッシュ・ハンカチで口と鼻を覆う。
・とっさのときは、袖で口と鼻を覆う。



火遊び鬼をやっつけろ!

◆2月3日(月) 本荘こども園



市内4つのこども園で、嶺北あわら消防署による「幼年消防クラブ防火教室(防火豆まき)」が行われました。

このうち本荘こども園では、3～5歳児の豆まき会を併せて開催しました。園児たちは、それぞれ手作りの鬼の面をかぶって踊って楽しんだ後、いよいよ鬼が登場。火遊びをする悪くて怖い鬼に、逃げたり泣いたりする子もいる中、最後にはみんなで豆を投げて追い払い、火遊びはしないことを誓っていました。

清掃活動で表彰

◆2月6日(木) 北潟小学校



第20回環境美化優良校等表彰事業で、北潟小学校が優秀校・協会会長賞を受賞しました。この表彰は、地域社会と連携しながら、独創的な環境美化教育に熱心に取り組んでいる小・中学校などが対象となるものです。北潟小学校は、5、6年生がカヌーに乗って北潟湖の水面を、1～4年生が地域団体の人たちと一緒に湖周辺をそれぞれ清掃する活動を20年間続けてきたことや、自然観察会やフォーラムでの発表を行ったことなどが評価されました。

この日、主催者側から表彰を受けた全校児童75人は「これからも活動を続けて、地域のシンボルである北潟湖を、自然豊かで誰からも愛される湖にしたい」と意気込んでいました。